

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
令和6年度第8回理事会報告

- 日 時：令和6年9月12日(木) 14:00—17:30
○場 所：JSOSビル3F会議室3
○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長（議案第7号から離席）、小野寺専務理事、赤尾・野村・町田各常務理事、小高・小田部・佐藤・島田・中島・中橋・西谷（議案第6号から離席）・畑中・濱田・樋口・前田・望月各理事
以上21名
佐久間監事、古屋監事 以上2名
○欠 席：平田・杉本理事 以上2名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

UAAA30周年記念事業、オリンピック事業も無事終了、メダルも取れたので成功といえるのではないが、スポンサーの皆様からも、一緒になって上昇気流に乗るようにしましょうといわれている。スポーツクライミング、山岳、スキーモ事業の目標達成、理事の改選、3-5年後のJMCAをどうするかなど、課題はあるが、着々と進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時23名中21名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超))
監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号：議事録の承認について(前回第7回の議事録について承認済)
賛成 21名 反対 ゼロ 棄権 ゼロ

議案第2号：補正予算途中報告について

濱田理事が口頭で現状の説明をした。9月の財務委員会で、財源の確認はされた。登山、独立委員会、事務局の支出について削減可

能か検討をすすめている。来月には、補正予算の審議をお願いする予定。

議案第3号 基金の確認について

事務局長が口頭で、現状400万円の申し込みとなっている。
他岳連からも、今後申込決定のところがでてきている。

議案第4号 博報堂DYスポーツマーケティングとの契約について

町田S C部長が配布資料をもとに説明した。
今後は、交渉についてマーケティング委員会に依頼予定。
以下のように異議なく承認された（9月13日付の契約）。
賛成 21名 反対 0名 棄権 0名

議案第5号 大阪府岳連からの申し入れについての状況

返答は、すでに送付済（8月15日付）。その後、大阪府岳連からは、特に質問等は来ていない。

議案第6号 理事会議事録、報告の配布方法について

赤尾事務局長が、配布資料を基に説明した。
理事会議事録の承認後、理事会報告用のまとめ（月報掲載と同じ内容）を早く作成し、HPに掲載後、そのアナウンスを岳連正会員にメールに添付して発信すれば、理事会開催後3週間前後で伝達できる。
報告用のまとめには副会長にもチェックいただくことを前提として当配布方法の提案について採決をとり、承認された。
賛成 21名 反対 0名 棄権 0名

登山月報の配布方法の改善について

岳連での煩雑な作業と、費用の2つの問題がある。月報の最終的なシステムでの公開方法はPDFによるHPでの公開方法で、すでにできている。その後以下の意見が出た。

*登山月報の中止や、発行頻度を減らす案もある。

*印刷停止の場合には、スポンサー料金に影響が出るかも確認が必要。

*現行方法に限らず、SNSを利用した方法の検討も必要である。

当面、岳連の意見を収集するために、アンケートを送付する。

前田理事、小高理事と事務局で作成し、以下の日程で行う。

9月27日（金）までアンケート作成、9月30日（月）アンケート配布

10月31日までに回答を受領。11月14日（木）理事会で、最終方針決定。上記日程案について採決し、以下のように承認された。

賛成 20名 反対 0名 棄権 0名
(西谷理事離席)

議案第7号 マーケティング委員会の今後の在り方について

小田部理事が配布資料を基に今後行うことの説明をした。具体的には、スポンサー獲得のための情報共有、各種補助金申請のとりまとめ、新たな財源獲得のための活動、行政のふるさと納税制度の活用、各岳連との協調営業及び広報活動全般などを行う。直近では、新宿区わがまち応援寄附金制度を活用した募集を行う予定。

また、今後は、登山、SC、スキーモにも対応することから、今期は、組織図は変えないが位置づけを検討する予定。上記の内容について採決し、以下のように承認された。

賛成 19名 反対 0名 棄権 0名
(吉田副会長離席)

議案第8号（追加議案）総会後の課題（2022年度理事会の責任）について

蛭田会長が標記の問題提起を行い、以下の協議をした。

- *責任、けじめのつけ方の日程案の検討
- *ガバナンス委員会での検討
- *倫理規程、処分規程等の変更検討
- *文書を残すこと（再発防止のための）の検討
- *令和6年度理事会として宣言文を作成、提示する方法の検討

今後は、三役で素案を作成し、常務理事会、監事に諮って、次回10月の理事会で提案、採決することになった。

16：10－16：20 休憩

議案第9号 スキーモ日本代表チームに関わる選手規程、ユニフォーム等運用規程の提案について

小野寺専務理事が説明。当規程の承認は、ガバナンス委員会の審議をへて、理事会で承認するというのが本来の手順であるが、選手派遣の決定が10月でなければならず、その手順では間に合わないので、当規程の承認を、理事会から常務理事会に委任してもよいかという提案を行った。その後、以下の意見が出された。

- *今までは、SCで来っている規程を準用していた。

*派遣する選手を決めるためならば、SCの規程を踏襲することで可ということを経理で決めるという方法も取れるのではないかと。

*規程自体は、後日、ガバナンス委員会での審議を経て、経理で決定した方がよいのではないかとという意見が出された。

この結果、今提案は取り下げとなり、派遣選手の決定は、SCの規程を準用し、常務経理会によるメール承認となった。

7. 報告

報告第1号 月次報告、キャッシュフローについて

赤尾事務局長が、画面から説明した。キャッシュフロー自体は、前月の試算と同様の予定。

令和6年度の予算に対しての執行割合は、8月末の5か月で46%となっている。SC強化の執行割合が多くなっている。

蛭田会長が、アジア山岳連盟30周年の収支状況を説明した。

当事業は、便宜上、国際AC委員会に、収支の数値をいれてある。

報告第2号 日山協山岳共済会保険料について

小野寺専務理事が、2025年度の割引率が46%から37%引きになり、その理由が事故率増、加入者数減であることを説明した。

報告第3号 委員名簿について

小野寺専務理事が、SC部、登山部、独立委員会について、常務経理会で承認された内容を画面に表示して説明した。

報告第4号 派遣役員確認について

小野寺専務理事が口頭で、国内外への派遣状況を説明した。JMSCA役員でない人の外部派遣はやめたほうが良いと考えている。

日本スポーツ協会の全国指導者連絡会の委員として年2-3回会議に参加している。

報告第5号 ガバナンス年1回のWeb確認について

小野寺専務理事が、HP上に進捗状況を10月末までに報告することになっていることを伝達した。

報告第6号 令和6年度上期総括案について

小野寺専務理事が、10月に報告することを伝達した。

報告第7号 山岳グランプリ公募について

小野寺専務理事が岳連に公募する旨を説明した。

報告第8号 役員選考規程改定日程について

古賀副会長が、役員候補者選考委員会規程、役員選考規程の変更について、ブロック代表をメンバーとしていれることを検討している旨説明し

た。来月の理事会で提案協議予定。

報告第9号 全日本登山大会新潟大会について

小野寺専務理事が配布資料を基に説明した。望月理事の手元にパンフレットが送付されてきたので、後日、参加理事に送付した。

報告第10号 田中名誉会長卒寿記念祝賀会について

小野寺専務理事が、会費10000円で、富士2の部屋で実施することを説明した。JOC, JSCへの案内は後送。博報堂DYスポーツマーケティングにも送付予定。

報告第11号 オリンピック祝勝会について

開催の方向だが、日程未定。理事には招待送付予定。

報告第12号 第2回神奈川スピードクライミング競技会の公認について

小野寺専務理事が常務理事会で承認された旨伝えた。

報告第13号 審判員資格審査について

小野寺専務理事が常務理事会で承認された旨伝えた。

報告第14号 SC協賛契約書について

町田SC部長が配布資料を基に説明した。

8. その他

事務局からの報告について

以下の4点を画面から報告した（添付参照）。

1. 支払い日時について

原則：月末日締翌月末払い

例外：20日締当月末払い

急ぎの場合には、個別に相談

2. HP掲載の更新の都度連絡について（SC部関係）

都度連絡しているが、毎日のようなになるので、今後は、各自がHPを見ていただくこととし、更新の連絡はしない。

3. 事務局分掌について

4. 次回理事会から、財務担当者がオブザーバーとして、議事録を纏めること等の援助を行う等して、参加を了解された。なお、SC部会については、SC担当者2名とも参加を了解された。

令和6年9月12日

記録 赤尾 浩一

以上